(再評価)

資料2 — 2— ②
関東地方整備局
事業評価監視委員会
(平成25年度第5回)

# 一般国道246号 秦野IC関連

平成25年9月13日 国土交通省 関東地方整備局

# 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・ その他の別
一般国道246号	秦野IC関連	∟= 0.75 km	二次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
4, 500	2	関東地方整備局

# ① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成25年度	
単純合計	49億円	11億円	61億円
うち残事業分	43億円	11億円	55億円
基準年における 現在価値(C)	41億円	3. 7億円	45億円
うち残事業分	35億円	3. 7億円	38億円

# ② 便 益

• "					
	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計	
基 準 年		平成25年度			
供用年		平成33年度			
単年便益 (初年便益)	8. 1億円	1.5億円	0.9億円	11億円	
基準年における 現在価値(B)	123億円	23億円	13億円	159億円	
うち残事業分	123億円	23億円	13億円	159億円	

#### ③ 結 果

費用便益比(事業全体)	3. 6
経済的純現在価値 (事業全体)	115億円
経済的内部収益率 (事業全体)	12. 5%
費用便益比(残事業)	4. 2
経済的純現在価値(残事業)	121億円
経済的内部収益率 (残事業)	15. 7%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## ④ 感 度 分 析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	4,500(台/日)	±10%	3. 2~3. 7
事業費	49億円	±10%	3.3~4.0
事業期間	20年	±2年	3. 3~3. 9

#### ④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	4,500(台/日)	±10%	3. 7~4. 3
事業費	43億円	±10%	3.8~4.6
事業期間	7年	±2年	3. 9 <b>~</b> 4. 6

# 交通状況の変化

事業名:秦野IC関連(事業全体·残事業)

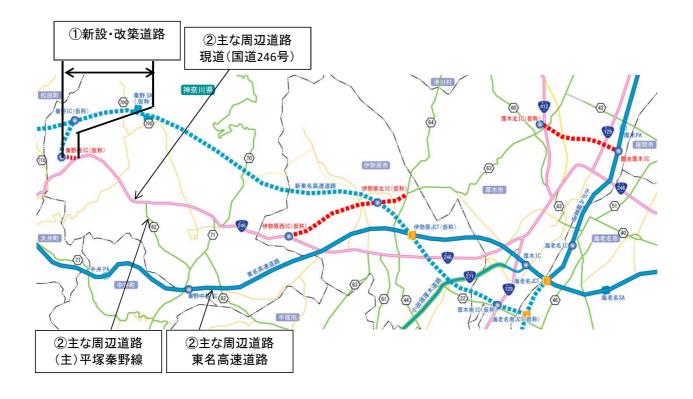
(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改	<b></b> <b>女築道路</b>	交通量	[台/日]	_	4, 500
[バイパス	等]	走行時間	[分]	_	1
0. 75	km	走行時間費用	[億円/年]	_	1. 17
	(主)平塚 秦野線	交通量	[台/日]	18, 400	16, 700
	3. 3	走行時間	[分]	7	7
	km	走行時間費用	[億円/年]	22. 95	19. 51
	国道246号 現道	交通量	[台/日]	24, 000	23, 200
②主な周 辺道路	7. 7	走行時間	[分]	14	14
	km	走行時間費用	[億円/年]	65. 30	62. 79
	東名高速 道路	交通量	[台/日]	89, 400	88, 500
	5. 3	走行時間	[分]	4	4
	km	走行時間費用	[億円/年]	73. 05	72. 26
③その他	2道路合計 143.9 km	走行時間費用	[億円/年]	399. 41	396. 73

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:161.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	560. 71	552. 47	8. 2

<sup>※</sup> 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

#### (2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



# 費用便益分析の条件

事業名: 秦野IC関連

(2)

	項目					ク欄
	算出マニュアル	費用便益分析	折マニュアル 1月 国土交通省 道路局 都市・地域整値	───── 備局)		
		その他(	THE PARTY SERVICES AND THE PROPERTY OF THE PARTY OF THE P	)		<del></del> j
		分析対象期間			50年	 E間
4	分析の基本的事項	社会的割引率	•		49	
		基準年次	<u>r</u>		平成25	
	交通流の	1時点のみ推			<b>■</b> (H	
	推計時点	複数時点での				]
		整備の有無る				<u> </u>
	14=1 o.15 \n		かいずれかのみ推計		□有	口無
	推計の状況		いずれかのみの推計とした理由を記載			
		道路交通セン	ンサスをベースとした自動車OD表			j
	+# =L   - □   \ +	(三段階推定	法)		(H17セン	<b>ンサス</b> )
	推計に用いた OD表	パーソントリッ	ップ調査をベースとした自動車OD表		Г	1
	のし衣	(四段階推定	法)		_	J
		その他(	)			]
交		無				l
通	開発交通量の 考慮	有				]
流			考慮した開発交通量(トリップ数)		( )台ト	·リッフ <sup>°</sup> /日
推計		有の場合のみ	考慮した理由を記載			
		QーV式を用	いた配分			]
		転換率式を用	別に記分			]
		Q-V式と転	換率式の併用による配分			l
		均衡配分(リ)	ンクパフォーマンス関数を用いた配分)			]
	配分交通量の	簡易手法				]
		毎日まけの	小規模事業である			]
	推計手法	簡易手法の 採択理由	山間部海岸部で併行道路が少ない			]
			その他( )			
		簡易手法の考え	方(将来交通量の設定方法等)			
		その他(	)			]
		各回の配分約 して設定	終了時の速度を交通量でウェイト付け			1
	速度設定の 考え方		t交通量が、交通容量(Qmax〜Qmin)以上の路線、 線等が混在した配分結果となっているため、費用便 生ずる「加重平均速度」を用いた。			
		最終配分の過				]
		採用理由を記載	i .			
		その他(	)			]

(3)

			項目	チェック欄
		考慮しない		
	·	考慮する		
	仕口去るの		面的に考慮	
	休日交通の 影響	1. E L 7	対象路線のみ考慮	
	彩音	考慮する 場合のみ	採用した休日係数	( ) %
	1	が口いい	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考えた	うを記載
				I
		考慮しない		
	1	考慮する		
	ツキゲルして		採用した通行止め日数	( )日
	災害等による 通行止めの		採用した通行止め日数の考え方を記載	
	通行正めの 影響	考慮する		
	<b>"</b> ✓ □	場合のみ	とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合(	
	<u>'</u>		とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合に	はその考え方を記載
	'		<u></u>	
		考慮しない		
	1	考慮する		
	<u>'</u>		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( )日
	冬期交通の		採用した冬期日数の考え方を記載	
便	影響	考慮する		
益	1	場合のみ	冬期の走行速度と交通容量の関係	
の	1		設定の考え方を記載	
算定	'		<u></u>	
疋	交通流推計の	ブロック別・耳	車種別走行台キロの伸び率による設定	
	時点以外の	その他		П
	便益の算定	(	)	Ц
	<u>'</u>	費用便益分析	析マニュアルの値を使用	
	車種別時間	独自に設定し		
	価値原単位			
	Ĺ	<u> </u>		
	<u> </u>	費用便益分	析マニュアルの値を使用	
		独自に設定し	た値を使用	
	経費原単位			
	l'	l		
	交通事故減少	中央分離帯(	の有無を考慮	
	便益算定		の有無を考慮しない	
	走行時間短縮・走	考慮しない		
	行経費減少•交通	考慮する		
	事故減少以外の便	(考慮の場合、	, 算出根拠を添付すること)	
	益			
	その他			
	1			
	1			

(4)

		項目	チェック欄
		詳細事業計画による値を採用	
	事業費	標準投資パターンを採用	
費		その他( )	
用算		維持管理費の設定根拠を記載	
	維持管理費		
定		関東地整における既存路線の実績を参考に設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	
	その他		
4.	その他		

#### 費用の現在価値算定表

箇所名:秦野IC関連(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

回川山 宋玑(5)风座(字					0.320	0.75	0.24
		割戻率	GDP	事業費		維持管理	
年次	年度		デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-20年目	H 13	1.6010	105.7	0.25	0.35		
-19年目	H 14	1.5395	103.8	0.25	0.34		
-18年目	H 15	1.4802	102.3	0.25	0.33		
-17年目	H 16	1.4233	101.0	0.44	0.57		
	H 17	1.3686	99.6	0.10	0.12 0.15		
	H 18 H 19	1.3159 1.2653	98.7 97.6	0.12 0.10	0.13		
	H 20	1.2167	96.8	0.10	0.11		
-12年目	H 21	1.1699	95.6	0.02	0.02		
	H 22	1.1249	93.7	0.10	0.11		
-10年目	H 23	1.0816	92.1	0.10	0.11		
-9年目	H 24	1.0400	92.1	2.10	2.18		
-8年目	H 25	1.0000	92.1	2.35	2.35		
-7年目	H 26	0.9615	92.1	3.06	2.94		
-6年目	H 27	0.9246	92.1	5.06	4.68		
-5年目	H 28	0.8890	92.1	5.26	4.68		
-4年目	H 29	0.8548	92.1	5.29	4.52		
-3年目	H 30	0.8219	92.1	6.62	5.44		
	H 31	0.7903 0.7599	92.1 92.1	10.13 7.86	8.01 5.97		
供用開始年次	п 32 Н 33	0.7399	92.1	7.00	J.87	0.23	0.17
1年目	H 34	0.7026	92.1			0.23	0.17
	п 34 Н 35	0.7026	92.1			0.23	0.16
3年目	H 36	0.6496	92.1			0.23	0.15
4年目	H 37	0.6246	92.1			0.23	0.14
5年目	H 38	0.6006	92.1			0.23	0.14
6年目	H 39	0.5775	92.1			0.23	0.13
7年目	H 40	0.5553	92.1			0.23	0.13
8年目	H 41	0.5339	92.1			0.23	0.12
9年目	H 42	0.5134	92.1			0.23	0.12
10年目	H 43	0.4936	92.1			0.23	0.11
11年目	H 44	0.4746	92.1			0.23	0.11
12年目	H 45	0.4564	92.1			0.23	0.10
13年目	H 46	0.4388	92.1			0.23	0.10
14年目 15年目	H 47 H 48	0.4220 0.4057	92.1 92.1			0.23 0.23	0.10
16年目	п 46 Н 49	0.4037	92.1			0.23	0.09
17年目	H 50	0.3751	92.1			0.23	0.09
18年目	H 51	0.3607	92.1			0.23	0.08
19年目	H 52	0.3468	92.1			0.23	0.08
20年目	H 53	0.3335	92.1			0.23	0.08
21年目	H 54	0.3207	92.1			0.23	0.07
22年目	H 55	0.3083	92.1			0.23	0.07
23年目	H 56	0.2965	92.1			0.23	0.07
24年目	H 57	0.2851	92.1			0.23	0.07
25年目	H 58	0.2741	92.1			0.23	0.06
26年目	H 59	0.2636	92.1			0.23	0.06
27年目 28年目	H 60 H 61	0.2534	92.1			0.23	0.06
28年日 29年目	H 61 H 62	0.2437 0.2343	92.1 92.1			0.23 0.23	0.06 0.05
30年目	H 63	0.2343	92.1			0.23	0.05
31年目	H 64	0.2166	92.1			0.23	0.05
32年目	H 65	0.2083	92.1			0.23	0.05
33年目	H 66	0.2003	92.1			0.23	0.05
34年目	H 67	0.1926	92.1			0.23	0.04
35年目	H 68	0.1852	92.1			0.23	0.04
36年目	H 69	0.1780	92.1			0.23	0.04
37年目	H 70	0.1712	92.1			0.23	0.04
38年目	H 71	0.1646	92.1			0.23	0.04
39年目	H 72	0.1583	92.1			0.23	0.04
40年目	H 73	0.1522	92.1			0.23	0.03
41年目	H 74	0.1463	92.1			0.23	0.03
42年目	H 75	0.1407	92.1	-		0.23	0.03
43年目 44年目	H 76	0.1353 0.1301	92.1 92.1			0.23 0.23	0.03
44年日 45年目	H 78	0.1301	92.1			0.23	0.03
	H 78	0.1203	92.1			0.23	0.03
47年目	H 80	0.1203	92.1			0.23	0.03
48年目	H 81	0.1112	92.1			0.23	0.03
49年目	H 82	0.1069	92.1	-18.65	-1.99	0.23	0.02
·- I H				. 5.55		5.25	5.52
合 計				30.81	41.00	11.43	3.73
							0.70

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

箇所名:秦野IC関連(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

					0.320	0.75	0.24
		割戻率	GDP	事業費	(億円)	維持管理	費(億円)
年次	年度		デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-7年目	H 26	0.9615	92.1	3.06	2.94		
-6年目	H 27	0.9246	92.1	5.06	4.68		
-5年目	H 28	0.8890	92.1	5.26	4.68		
-4年目	H 29	0.8548	92.1	5.29	4.52		
-3年目	H 30	0.8219	92.1	6.62	5.44		
-2年目	H 31	0.7903	92.1	10.13	8.01		
-1年目	H 32	0.7599	92.1	7.86	5.97		
供用開始年次	H 33	0.7307	92.1	7.00	0.07	0.23	0.17
1年目	H 34	0.7026	92.1			0.23	0.17
2年目	H 35	0.6756	92.1			0.23	0.15
3年目	H 36	0.6496	92.1			0.23	0.15
4年目	H 37	0.6246	92.1			0.23	0.13
	H 38	0.6006					0.14
		0.5775	92.1 92.1			0.23 0.23	0.14
6年目	H 39 H 40					0.23	
7年目		0.5553	92.1				0.13
8年目	H 41	0.5339	92.1			0.23	0.12
9年目	H 42	0.5134	92.1			0.23	0.12
10年目	H 43	0.4936	92.1			0.23	0.11
11年目	H 44	0.4746	92.1			0.23	0.11
12年目	H 45	0.4564	92.1			0.23	0.10
13年目	H 46	0.4388	92.1			0.23	0.10
14年目	H 47	0.4220	92.1			0.23	0.10
15年目	H 48	0.4057	92.1			0.23	0.09
16年目	H 49	0.3901	92.1			0.23	0.09
17年目	H 50	0.3751	92.1			0.23	0.09
18年目	H 51	0.3607	92.1			0.23	0.08
19年目	H 52	0.3468	92.1			0.23	0.08
20年目	H 53	0.3335	92.1			0.23	0.08
21年目	H 54	0.3207	92.1			0.23	0.07
22年目	H 55	0.3083	92.1			0.23	0.07
23年目	H 56	0.2965	92.1			0.23	0.07
24年目	H 57	0.2851	92.1			0.23	0.07
25年目	H 58	0.2741	92.1			0.23	0.06
26年目	H 59	0.2636	92.1			0.23	0.06
27年目	H 60	0.2534	92.1			0.23	0.06
28年目	H 61	0.2437	92.1			0.23	0.06
29年目	H 62	0.2343	92.1			0.23	0.05
30年目	H 63	0.2253	92.1			0.23	0.05
31年目	H 64	0.2166	92.1			0.23	0.05
32年目	H 65	0.2083	92.1			0.23	0.05
33年目	H 66	0.2003	92.1			0.23	0.05
34年目	H 67	0.1926	92.1			0.23	0.04
35年目	H 68	0.1852	92.1			0.23	0.04
36年目	H 69	0.1780	92.1			0.23	0.04
37年目	H 70	0.1712	92.1			0.23	0.04
38年目	H 71	0.1712	92.1			0.23	0.04
39年目	H 72	0.1583	92.1			0.23	0.04
40年目	H 73	0.1522	92.1			0.23	0.04
41年目	H 74						
41年日 42年目	H 75	0.1463 0.1407	92.1 92.1			0.23 0.23	0.03
	H 76		92.1				
43年目		0.1353				0.23	0.03
44年目	H 77	0.1301	92.1			0.23	0.03
45年目	H 78	0.1251	92.1			0.23	0.03
46年目	H 79	0.1203	92.1			0.23	0.03
47年目	H 80	0.1157	92.1			0.23	0.03
48年目	H 81	0.1112	92.1			0.23	0.03
49年目	H 82	0.1069	92.1	-14.85	-1.59	0.23	0.02
A =1	1						
合 計				28.44	34.66	11.43	3.73
単純事業費計				43.29		11.43	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

所名:秦野IC関連(事業全体·残事業

計 (億円) 現在価値 割引率4% 9.42 9.34 9.25 9.25 9.09 9.00 8.92 8.84 8.75 8.67 8.59 10.58 10.62 10.65 10.65 10.66 10.66 10.59 10.43 10.43 10.71 10.09 10.01 8.42 8.25 8.17 8.08 7.50 7.58 0.064
0.057
0.057
0.057
0.057
0.057
0.058
0.044
0.028
0.038
0.038
0.029
0.029
0.029
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020
0.020 0.12 0.10 0.10 0.09 0.09 0.08 0.08 0.08 0.07 於(意円) 現在価値 事故減少便益( 0.088
0.089
0.089
0.089
0.089
0.090
0.090
0.090
0.088
0.088
0.088
0.088
0.088
0.087
0.079
0.079
0.073 0.72 0.71 0.71 0.70 0.69 0.69 0.67 0.65 0.65 0.65 0.65 0.65 1.03 0.99 0.98 0.09 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 | 154 1.09 1.05 1.03 0.70 0.00 走行経費減少便益(億円 小型貨物 0.081 0.081 0.082 0.082 0.082 0.082 0.082 0.082 0.082 0.082 0.082 0.083 0.073 0.073 0.073 0.074 0.074 0.074 0.074 0.075 0. 1.78 1.62 1.54 1.47 1.40 1.33 1.27 1.15 1.09 1.09 0.99 0.90 0.85 0.77 0.77 0.73 0.70 0.66 8.118 8.118 8.118 8.120 8.121 8.122 8.123 8.123 8.124 7.749 7.749 7.740 7.740 7.740 7.750 6.51 6.38 走行時間短縮便益(億) 0.098 0.099 0. 1.16 3.98 3.92 3.87 3.75 3.76 3.58 3.58 3.53 3.47 3.47 992.1 92.1 92.1 92.1 92.1 92.1 92.1 92.1 92.1 92.1 92.1 GDP デプレータ 0.6756 0.6246 0.6006 0.5775 0.4746 0.4057 0.29650.4388 0.422 0.390 0. 99206 0. 99200 0. 99193 0. 99187 0. 99180 0.99159 0.99152 0. 99145 0. 99138 0. 99130 99242 0. 99225 0. 99218 0.99166 0.99173 1. 01041 1. 01030 01020 . 01009 . 00999 . 00174 0. 98832 0. 98818 0.98775 00175 00174 00173 0.98790 0.98920 0.98909 0.98760 0.98744 0.98728 0.98543 52 54 55 56 45 59 9 99 68 年度 <sup>基準年</sup> H25 16年目 17年目 18年目 19年目 20年目 21年目 22年目 23年目 24年目 25年目 26年目 27年目 28年目 29年目 30年目 31年目 35年目 2年目 3年日 5年日 6年日 7年日 8年日 9年日 10年 11年 12年 13年[ 14年 15年 38年 46年| 48年

4.94 4.72 4.50 4.29 4.09 3.90 3.72

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道246号	秦野IC関連	2	0.75 km

#### ■事業費内訳(全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①工事費	事費				1,732	
	改良費				770	
		土工	式	1	364	床堀、埋戻し、掘削等
		軟弱地盤工	m3	0	0	
		法面工	m2	12,372	6	法面整形、種子散布
		擁壁工	m	1	116	プレキャスト擁壁
		管渠工	m	273	22	
		函渠工	m	103	130	
		排水工	式	1,514	77	側溝、街渠桝
		中央分離帯工	m	549	20	歩車道境界ブロック、縁石
		雑工	式	1	34	区画線、舗装版撤去等
	橋梁費		式		684	
		100m以上	橋	142	684	
		100m未満	橋	0	0	横断歩道橋
	トンネル費			0	0	
		NATM	m	0	0	
		シールド	E	0	0	
	IC・JCT費				0	
		IC	箇所	0	0	
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費				227	
		車道舗装	m2	18,200	221	
		步道舗装	m2	1,620	6	
	付帯施設費				51	
		交通管理施設工	恜	1	51	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	0	0	
②用地及	補償費				2,642	
	用地費		m2	43,397	1,865	
		宅地	m2	11,381	1,192	
		田畑	m2	14,140	593	
		山林•原野	m2	17,876	80	
		その他	m2			
	補償費		式	1	777	
③間接経	③間接経費		式	1	726	測量、設計にかかる費用及び予備費
全体残事	業費				5,100	

【単価等について】 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道246号	秦野IC関連	2	0.75 km

#### ■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①工事費	費				1,732	
	改良費				770	
		土工	式	1	364	床堀、埋戻し、掘削等
		軟弱地盤工	m3	0	0	
		法面工	m2	12,372	6	法面整形、種子散布
		擁壁工	m	1	116	プレキャスト擁壁
		管渠工	m	273	22	
		函渠工	m	103	130	
		排水工	式	1,514	77	側溝、街渠桝
		中央分離帯工	m	549	20	歩車道境界ブロック、縁石
		雑工	式	1	34	区画線、舗装版撤去等
	橋梁費		式		684	
		100m以上	橋	142	684	
		100m未満	橋	0	0	横断歩道橋
	トンネル費			0	0	
		NATM	m	0	0	
		シールド	m	0	0	
	IC·JCT費				0	
		IC	箇所	0	0	
		JCT	箇所	0	0	
	舗装費				227	
		車道舗装	m2	18,200	221	
		歩道舗装	m2	1,620	6	
	付帯施設費				51	
		交通管理施設工	式	1	51	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m	0	0	
②用地及	補償費				2,213	
	用地費		m2	34,555	1,485	
		宅地	m2	9,062	949	
		田畑	m2	11,259	472	
		山林•原野	m2	14,234	64	
		その他	m2			
	補償費		式	1	728	
③間接経費		式	1	526	測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体残事	<u>——</u> 業費				4,471	

【単価等について】 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道246号	秦野IC関連	2	0.75km

## ■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	0.75	5	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	19	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			24	

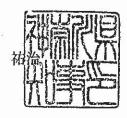
#### 【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

道 企 第 2 8 号 平成25年9月3日

国土交通省関東地方整備局長 深澤 淳志 様

神奈川県知事 黒岩



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に 係る意見照会について(回答)

平成25年8月22日付け国関整企画第138号で照会のありました標記について、別添のとおり回答します。



# (再評価)

(回答様式)

# 【道路事業】

事 業 名	「対応方針(原案)」案 ※	神奈川県知事の意見
一般国道246号	継続	別紙(1)のとおり
一般国道246号厚木秦野道路	継続	別紙(2)のとおり
一般国道 4 6 8 号 首都圏中央連絡自動車道 (横浜湘南道路)	継続	別紙(3)のとおり
一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 (茅ヶ崎〜海老名)	継続	別紙(4)のとおり

<sup>※</sup> 貴県の意見を踏まえ、関東地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案) を作成するためのものです。

# (別紙1)

一般国道246号の秦野インターチェンジ関連事業は、県土の骨格を形成する新東名 高速道路と一般国道246号を接続し、交通の円滑化や利便性の向上、地域の発展、経 済活性化などに寄与する大変重要な事業である。

ついては、新東名高速道路の事業に遅れることなく、引き続き本事業を強力に推進されたい。